



# 呉トピックス



## 地元高校生が企画 地域住民と県産フルーツでパフェづくり



▲パフェを飾り付ける参加者  
旬、呉市の  
広まちづく  
り推進協議  
会が同市広  
まちづくり  
センターで  
「パフェづ  
くり体験」  
を開き、地

域住民約200人が参加しました。地元高校生らが参加する活動「ひろまちデザインファクトリー」(同協議会が主催)のメンバーが「広」を盛り上げようと企画。参加者と一緒にオリジナルのパフェを作り、地域住民と交流しました。

9月下旬、呉市の広まちづくり推進協議会が同市広まちづくりセンターで「パフェづくり体験」を開き、地元高校生らが参加する活動「ひろまちデザインファクトリー」(同協議会が主催)のメンバーが「広」を盛り上げようと企画。参加者と一緒にオリジナルのパフェを作り、地域住民と交流しました。



▲1株1株丁寧にかん水する立花組合長



## 「お宝とまと」初の2億円突破 今年度産もおごることなく管理徹底

呉市倉橋町でブランドトマト「お宝とまと」を生産する倉橋町施設野菜生産組合は令和5年度産出荷量実績が計画の103%で販売高が初めて2億円を突破しました。念入りに土づくりをして9月上旬から今年度産の苗の植え付けをはじめ、11月上旬ごろまで順次3.4haのハウスに約65,000本を植え付け

ます。定植後も目が離せません。しっかりと根付くまで、植え付け後10、20日は1株1株確認しながら、こまめに手かん水します。立花隼人組合長は「組合員をはじめ、関係者のみなさまのおかげで2億円を突破できた。これに奢ることなく、管理を徹底し消費者に喜んでもらえるトマトを届けられるよう組合員一丸で取り組む」と意気込みます。令和6年度産お宝とまとは12月中旬ごろから出荷が始まり、前年比103%の439tの出荷を計画、今年産も2億円を超える販売高2億1,200万円を目指します。



## 実入り良く仕上がりに々 酒造好適米「八反錦1号」収穫



▲収穫した米の谷目を確認する関係者

呉市郷原町で9月中旬、2024年産酒造好適米が収穫を迎えました。産地全体で約2.5haの作付け、15tを見込み、広島県オリジナル「八反錦1号」を「呉末希米」のブランド名で出荷します。

相原酒造株式会社、宝剣酒造株式会社と榎酒造株式会社も応援に駆けつけ、収穫した酒米は、速やかに同JJAの酒米用乾燥調整施設で乾燥させます。郷原10区東農業研究会の中谷信雄会長は「地域を流れる黒瀬川のおかげで日照りの影響もななく育った。自信を持って蔵元に届けられる。これからも地域で協力して作付けを守る」と笑顔で話します。「呉末希米」で造られた純米酒は水、蔵元と「オール呉産」の地酒。来年2月から「宝剣」「雨後の月」「華鳩」の銘柄で順次販売する予定です。



## 管内の小学生が農業体験



▲白菜の苗を植え付け(警固屋小1年生)



▲大根の種まき(三坂地小3年生)



▲稲刈りを体験(三坂地小5年生)

JJA呉地域では、管内の小學生に農作物がどのように育つか、農業に少しでも興味を持ってもらおうと、稲や野菜などを育てて収穫する農業体験を行っています。

9月下旬には警固屋小学校1年生が野菜の苗を植え付け、三坂地小学校3年生が大根の種まき、10月初旬には三坂地小学校5年生が稲刈りを地域の生産者やJJA職員に手伝ってもらいながら体験しました。



### 落葉果樹

#### イチジク

収穫も終わり、樹は落葉し始め休眠期に入ります。  
落葉時期に入っても、枝の先端にいつまでも緑色の葉が残っている場合の原因として、枝の充実が悪く、肥料が遅効きしている可能性が考えられます。樹の状態を確認し、今後の栽培管理に生かすように心掛けてください。

#### ▽土づくり

イチジクの収穫期間は長く、毎日園地に入ること、園内は踏み固められています。そのままの状態では、肥料やかん水の効きが低下します。  
完熟たい肥(こだわり健康などの施用と、中耕、客土などを実施しましょう。

#### ▽園内の清掃

越冬病害虫を園内から排除するためにも、落葉した葉や最後まで収穫でき

すめは、小松菜、ほうれんそう、チンゲンサイです。

#### 黒マルチシートで地温を上げよう

黒マルチシートを張ると地温が上がるので、種の発芽や生育などに良い効果が出ます。シワがないように、ぴったりと土の上にマルチシートを張るのがポイントです！

#### 肥料

・即効性なら液肥が万能  
土づくりが遅れてしまった場合は、追肥をしましょう。固形肥料の場合、効き目が出るまでに時間がかかるので、生育の悪さが気になるようなら、効果が早く出やすい液肥を使用します。

#### 害虫・害鳥対策

・ネットで野菜を守る  
鳥や虫の餌が少なくなる12〜2月ごろになると、菜園や畑の野菜が狙われます。特に雪が降った後は地面が雪で覆われてしまうので、被害がわかりにくく手遅れになることもあります。防虫ネットや防鳥ネットを使って、しっかり野菜を守りましょう。

#### 防寒対策

・ビニールトンネルを作る  
気温が10℃を下回ったら、園芸用ビニールを使用してトンネルを作り、防寒対策をしましょう。防虫ネットの上から大丈夫です。ただし、気温が15℃以上になると、ビニール内が必要以上

#### イチジクの果実状態の原因と対策

◎青い果実が多い、落葉が遅い

原因	対策
樹勢が強すぎる	・施肥量、施肥時期の見直し ・せん定は間引きを主体にする ・誘引や整枝などを行ないながら樹冠拡大する

◎小玉果、ヤケ熟れ果が多い

原因	対策
樹勢が弱い 水不足 病害虫被害	・せん定は切り返しを主体にする ・土づくり(中耕・客土の実施) ・基本防除の徹底 ・かん水の実施(かん水設備などの設置) ・苗木への改植

なかつた果実を集めて園外へ持ち出し処分しましょう。

#### ■苗木の植え付け準備

イチジクは、植栽後の樹冠拡大が他の品目と比べ早いです。  
植栽間隔は広くとるようにしましょう。

#### カキ

#### ▽収穫

収穫の際は、果面の果粉を落とさないように気を付けましょう。  
また、収穫力ゴの内側に布を張るなどして、果実に傷がつかないように十分注意しましょう。  
富有柿は大玉でヘタスキが発生しやすい特徴があり、ヘタスキ果は日持ちが悪くなるので、収穫時に仕分けが必要があります。

に高温になり蒸れてしまうので気温の上昇とともに外しましょう。

#### プランター栽培の冬対策

比較的環境の良い場所です。プランター栽培でも、冬の防寒対策やメンテナンスをすると、より植物の生長が良くなります。春夏栽培で使ったプランターの土は、春に向けて改良しておくといでしょう。

#### プランターにカバーをする

寒さに強い野菜でも、霜が降りると葉を傷める可能性があります。日中が10℃以下の日が続くようなら、プランター全体を園芸用ビニールなどで覆って保温します。

#### 室内に移動する

プランターを寒くなり過ぎない室内に移動すれば、防寒対策は必要ありません。日中の日当たりが良いときは外

#### 冬に育てられる野菜があるの? 秋から冬にかけて植えて、冬から春に収穫できる野菜もたくさんありますよ!



#### 春キャベツ

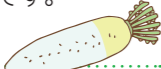
ふわっとゆめく結球する春キャベツは、葉がとともみずみずしくやわらかいので、生のままか軽く炒めて食べると最高です。11〜12月中旬に植え付けをして、5月ごろに収穫します。

#### そら豆



10〜11月中旬に種まきを行ないます。冬になる前に種まきを終わらせるのがポイントです。冬を越した後から追肥をしながら育てることで、急激に生育していきます。収穫時期は5月ごろです。

#### 大根



小ぶりな大根の場合は、10〜12月まで種まきしても栽培可能。収穫時期は12〜3月ごろです。また、気温が下がり害虫が減れば、栄養たっぷりの葉も収穫できますよ!

- Step 1** ふるいを使って、土の中の根や害虫を取り除きます。
- Step 2** 不織布やビニールシートの上に土を広げて、熱湯をかけます。
- Step 3** 屋外に置いて霜と寒さにさらします。2〜3週間に1度かき混ぜると、病害虫を死滅させることができます。2カ月間は冷気にあてましょう。

#### 土をフリーニング

冬の間、プランターで野菜を育てないのであれば、プランターの中の土をフリーニングしておきましょう。病害虫を除去し、土を元気にしておくことで、春から栽培する植物がより元気に育つようになります。

#### MEMO

11月になると落葉時期が始まり休眠期を迎えます。  
先月に引き続き土壌改良、落葉の処理、間伐、苗木の植え付け準備などの作業があります。  
来年に向けての準備と意思ながら計画的に作業を行ないましょう。

#### モモ

#### ▽排水対策・土壌改良

モモは浅根性で耐水性に弱い特徴があります。  
排水の悪い園地で栽培されている場合は、排水対策(明きょや暗きょなど)を行なったうえで土壌改良を行なうのがよいでしょう。  
また、一部の園地で若樹でも幹からゼリー状の物質が発生していることがあります。これは、極端に乾燥しやすい園地や土質(花崗岩土壌など)によって発生するともいわれています。  
土壌改良(堆肥の投入など)を行ない細根量を多く保つことが重要となります。

#### 共通事項

#### ▽間伐・縮伐

成園になると樹冠が拡大し、枝が混みあい、作業性、日照量や通気性低下による品質低下や病害虫の発生が増加する可能性があります。  
落葉前に作業性などを確認して、せん定を開始するまでに計画的な間伐を行ないましょう。

#### 家庭菜園

だんだんと気温も下がり、降霜の時期に入る11月。積極的に野菜などの栽培を行なわないイメージがありますが、冬ならではのメンテナンスや冬に植えることができる野菜もあります。畑やプランターで行なう土づくりや作業、防寒対策を紹介します。  
寒い季節でも土や野菜に効果的な作業をすることで、野菜がより元気に育つようになります。

#### 冬の野菜栽培に必要な作業 土づくり・防寒対策など

気温が下がってくると肥料の効き目が鈍ります。土づくりのタイミングや肥料、鳥害、防寒対策など、冬ならではのメンテナンスをしましょう。

#### 土づくり

#### ▽肥料投入は早めの3週間前

10月以降、気温が低下してくると、肥料の分解が遅くなり効き目も鈍ります。元肥の投入は、種まきや植え付けの3週間前に実施しましょう。夏野菜の栽培で肥料がまだ効いている場所なら、あえて元肥をせずに栽培してみましょう。

#### ▽元肥が遅れた場合

大根やカブなどの根菜類は、元肥がないと育ちが悪くなる可能性があります。元肥が遅れた場合は、比較的寒さに強い葉物を育てるのも良いです。おす

「家の光」12月号・1月号 購読申込受付中!

Shall we まねっちゃん?

IE no HIKARI Presents

お申し込みはお近くのJAへ

JAグループ 家の光協会 〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11 TEL 03-3266-9039 http://www.ienohikari.net/

# 呉地域野球部 準優勝に輝く 第48回 広島県 J A 役職員定期野球大会

呉地域野球部は第48回広島県 J A 役職員定期野球大会に出場し、準優勝に輝きました。  
今大会は15チームが参加し、9月から予選トーナメントが呉市の鶴岡一人記念野球場（呉二河球場）で行なわれ、10月13日の決勝トーナメント準決勝では J A 広島信連を 1 対 0 で下し、決勝は広島中央地域を相手に全員野球で挑み、惜しくも敗れる結果となりました。



吉田健一郎選手（呉ローンセンター）



越智雄大選手（広東支店）



高田大輔投手（昭和支店）



準優勝に輝いた呉地域野球部のみなさん



中田光稀投手（郷原支店）

## ときめき 女性部通信

### 役員が交流深める 役員視察研修

J A ひろしま女性部呉地区本部は10月4日、『創業 明治10年！寝具製造メーカー「浅尾繊維工業」視察研修』と題して、島根県へ視察研修に行きました。

視察研修は寝具メーカー浅尾繊維工業株式会社を訪ね、工場では布団ができる過程を見学し、寝具の効能などを学習。帰りに「島根ワイナリー」で買い物も楽しみました。とても有意義な一日になりました。

